

Environmental & Social Report 2021

アマノ 環境・社会報告書 2021



「持続可能な社会」の実現のために、アマノができること

TIME & ECOLOGY
AMANO

90th
90周年、次の挑戦へ。

TIME & ECOLOGYの未来へ

〔時間〕 それは、人類普遍の資産。

〔環境〕 それは、かけがえのない財産。

創業以来、アマノが一貫して追求しているテーマもこの〔時間〕と〔環境〕。

〔時間〕を見つめ有効活用するためのソリューションと、

より働きやすい〔環境〕を創造するエンジニアリングで、

これまでに築きあげてきた技術と信頼を礎に、

未来へ向かってチャレンジを続けています。

グローバルな視点で、人とビジネスと社会をつなぐ。

アマノは〔時間〕と〔環境〕の無限の可能性を目指して

豊かな未来の創造に貢献します。

本報告書は明記がない限り、アマノ単独を対象としています。

【本報告書《環境報告》の対象範囲】本社及び相模原事業所、細江事業所の2事業所部門(生産拠点)と全国支店・営業所を主なサイト活動単位としています。本社と隣接するアマノギャラクシービル(開発の一部が所属)及びアマノグループ会社のうち本社敷地内の(株)アマノエージェンシーは本社サイトとして、本報告書の対象に含めます。

【本報告書《環境報告》の対象期間】本報告書《環境報告》の対象期間は、2020年4月1日から2021年3月31日です。但し、決算期末(年度)をまたいで継続している環境保全活動等の一部環境報告事象の記述等については、本報告書原稿入稿時(2021年11月)までの情報も含みます。

■本報告書は、環境省発行の「環境報告ガイドライン(2018年版)」を参考に作成していますが、全てを網羅していません。

CONTENTS

目次	2
アマノの事業展開	3
数字で見るアマノ	5
トップメッセージ	7
経営理念	9

社会報告	10
従業員との関わり	11
労働安全衛生・防災の取り組み	15
品質・顧客満足	17
社会貢献活動	18

環境報告	19
環境マネジメントシステムの取り組み	20
環境負荷低減の取り組み	21
支店・営業所の取り組み	22
廃棄物削減の取り組み	23
環境配慮型製品	25
化学物質管理	26
グリーン調達	27
生物多様性への取り組み	29

行動規範・コンプライアンス	31
コーポレート・ガバナンス	32
人権方針	33
目標と活動実績	34

アマノの事業展開

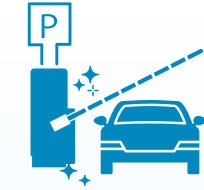
国産初のタイムレコーダーを送り出して以来、常に開発型企业として継続し、全事業部門が顧客密着型の営業活動を通じ、環境の変化にスピーディーかつ柔軟に対応する積極的な事業展開を続けています。

情報システム・時間管理機器



働く人の情報管理や勤務時間の集計、給与計算、届出ワークフローなど様々な情報を効率的に処理する人事労務システム。出退勤の時刻を記録するタイムレコーダー。伝票や書類に正確な日時を記録するタイムスタンプなど、オフィスやビジネスにおける多くのシーンでアマノの情報システム・時間管理機器が活躍しています。

パーキングシステム



ショッピングセンターや病院などさまざまな施設の駐車場でお馴染みのゲート式精算システム。コインパーキングで活躍するフラップ式精算システム。駅前の駐輪場では駐輪場システムなど、街中のいたるところで、アマノパーキング製品が活躍しています。アマノは車と人の快適な社会の実現に貢献していきます。

環境システム



精密機器や電子部品の製造、食品加工、様々な現場で発生する粉塵をしっかりと捕集する集塵装置。溶接やレーザー加工で発生する煙や悪臭を捕集するヒュームコレクター。機械加工作業や噴霧作業で発生する油性・水溶性のミストを効率よく捕集するミストコレクターなど、職場環境改善、省エネ、低コスト設備の実現に貢献しています。

クリーンシステム



清掃作業の品質向上や業務の効率化、人手不足対策に貢献する清掃ロボット。駅や商業施設や工場の床を清潔に保つ自動床面洗浄機。ホテルやオフィスなどのカーペットの汚れをとるカーペット清掃機。屋内外の路面を効率よく清掃する路面清掃機など、「掃く」「洗う」「磨く」で身近な環境の美化と清潔維持に役立っています。

社会で活躍するアマノ製品

工場内の環境を改善し、安全・安心な職場環境を実現!



集塵機



駐車場・セキュリティゲートシステム



自動床面洗浄機

セキュリティも勤怠管理も1枚の非接触ICカードでトータル管理!



人事労務管理システム



ICカード社員証発行サービス



デジタルタイムスタンプ

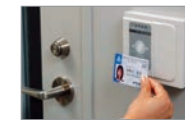


業務用掃除機

職員の勤怠管理、公共施設利用者の利便性向上!



人事労務管理システム



入退室管理システム



駐車場・駐輪場システム

ドクターの勤怠管理、職員、利用者の満足度を向上!



電解水(次亜塩素酸水)生成装置



業務用空気清浄機



人事労務管理システム



自動床面洗浄機

オフィス

官公庁

駅

病院

ショッピングセンター・店舗

学校・幼稚園・保育園

店舗運営の効率化・省力化でコスト削減・人手不足を解決!



駐車場・駐輪場システム



入退室管理システム



清掃ロボット



勤怠管理ソフト付タイムレコーダー

在宅勤務・リモートワークでの勤怠管理・各種届出にも対応!



クラウド型勤怠管理システム



人事届出クラウドサービス

テレワーク対応

職員・教員の勤怠管理、施設内の衛生管理を徹底!



人事労務管理システム



勤怠管理ソフト付タイムレコーダー



電解水(次亜塩素酸水)生成装置



業務用空気清浄機

駅周辺の放置自転車対策や駅的美観を維持!



駐輪場システム



清掃ロボット

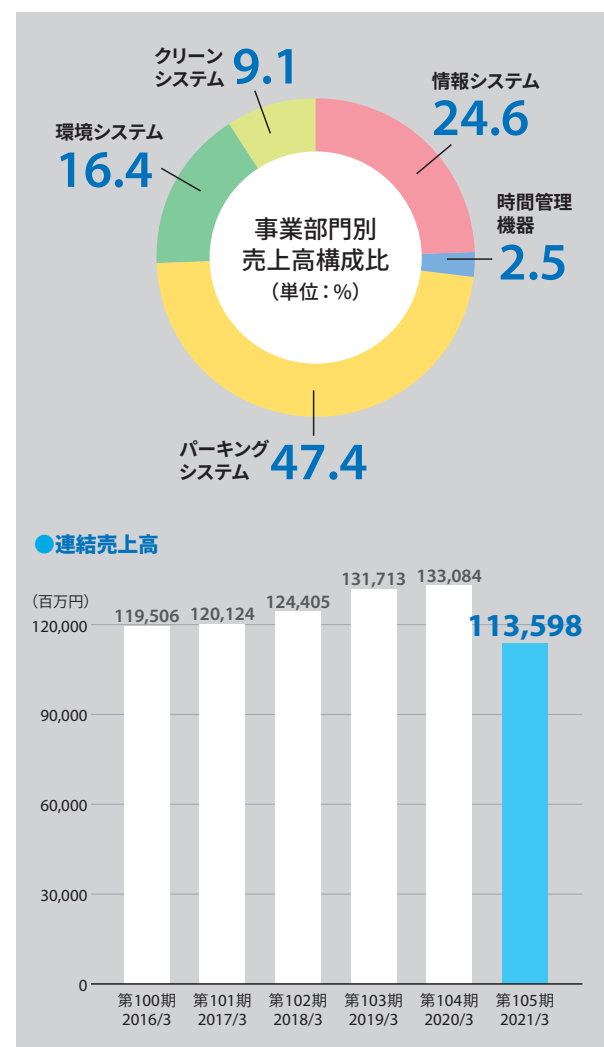
あちこちで、“ヒトを、ヒントに。” 未来をよくしています。

数字で見るアマノ

会社概要

社名	アマノ株式会社 AMANO Corporation
本社所在地	神奈川県横浜市港北区大豆戸町275番地 電話: 045(401)1441(代表) FAX: 045(439)1120
創業	1931年(昭和6年)11月3日
設立	1945年(昭和20年)11月22日
代表者	代表取締役社長 津田博之
資本金	182億3,958万円(2021年3月末現在)
国内事業所 (生産拠点)	相模原事業所・細江事業所
連結子会社	28社(国内・海外の製造・販売会社)
非連結子会社	3社
関連会社	1社

アマノグループは、アマノ株式会社及びグループ関係会社(32社)で構成し、情報システム・時間管理機器、パーキングシステム、環境システム、クリーンシステムを展開しています。事業部門別売上高構成比率および連結売上高は、下記の通りです。



連結売上高

113,598百万円

(2021年3月期末)

従業員数

連結 **4,977**名

単独 **2,119**名

(2021年3月期末)

生産・販売・研究開発 拠点数

日本 **77** 拠点

海外 **93** 拠点

(2021年3月期末)

連結経常利益

11,017百万円

(2021年3月期末)

男女比率

男性 **84.9**%

女性 **15.1**%

(2021年3月期末)

CO₂削減率

12.3%

(2013年度比、2021年3月期末)
※社用車の燃料使用除く

地域別連結売上比率

日本 **65.3**%

海外 **34.7**%

(2021年3月期末)

海外内訳

北米 **12.7**%

アジア **14.8**%

欧州 **7.2**%

平均勤続年数

17.9年

(2021年3月期末)

PRTR対象物質 取扱い削減率

21.9%

(2019年度比、2021年3月期末)

育児休業取得率

男性 **2.7**%

女性 **100**%

(直近3年間平均)

廃プラリサイクル率

95.4%

(2021年3月期末)

「人と時間」「人と環境」をテーマに、 広い視野をもって常に環境保全に配慮した 事業活動及び環境経営を推進します。

私たちアマノグループは、「人と時間」「人と環境」の分野で、新しい価値を創造し、安心・快適で健全な社会の実現に貢献することを経営理念としています。

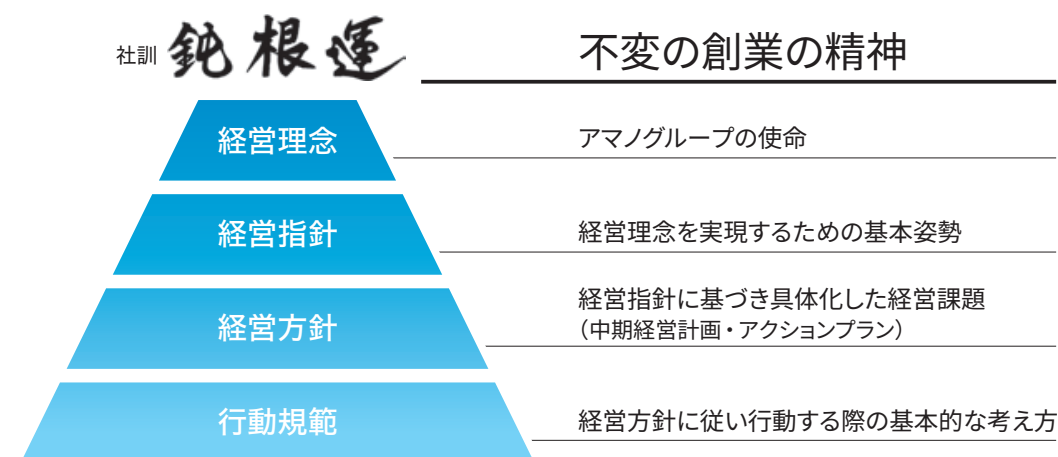
この経営理念のもと、経営環境の変化に対応した最適なガバナンス体制を機軸に、既存事業の拡大に加え、中長期・グローバルな視点での新しい事業・市場を創出して持続成長を実現することにより、企業価値の最大化を図ります。また、事業活動を通じて確保した適正な利益を継続的に還元して、「お客さま、取引先、株主、従業員、地域社会」の全てのステークホルダーに信頼され評価される企業を目指してまいります。

国際社会において、各国、各企業は「持続可能な開発目標(SDGs)」について様々な取り組みを進めています。その中でアマノグループは、環境と経済のバランスのとれた、サステナブルな社会の構築に貢献する事が社会的責務であるとの認識に立ち、常に環境保全に配慮した環境経営を推進しています。

すなわち「環境理念」を共有し、「環境方針」に基づいた行動の実践により、アマノグループが提供する製品、ソリューション、サービス、それを生み出す製造から販売まですべての事業活動におけるシーンでCO₂や廃棄物削減など環境負荷軽減への取組みを徹底するとともに、地域社会の環境保全活動の強化、環境管理体制の充実に努めています。また、ウィズコロナ・アフターコロナの時代においては、新しい働き方に対応した就業管理システム、廃棄物削減・非接触を実現するチケットレス・キャッシュレス駐車場システム、ウイルス抑制機能を持つ業務用空気清浄機、省エネ・業務効率化を図るロボット洗浄機、除菌効果に優れ排水処理が不要な電解水(次亜塩素酸水)生成装置など様々な製品を開発・提供しています。これらの活動や製品は、SDGsの目標やターゲットと共通するものと考えています。

アマノグループは、サプライチェーンとともにこれからも地域社会と密接に連携・協調を図りながら行動するとともに、グローバル企業として、継続した地球環境保全活動に取り組んでまいります。

基本理念体系



鈍とは、正しい行為をいいます。愚鈍の鈍ではなく、正直、明朗、人格尊重、人の和、奉仕の気持ちといった行為にも通じます。

根とは、たゆみない努力をいいます。仕事に対して愛情をもつとか、研究向上心をもつということにも通じます。

運とは、めぐまれる幸運をいいます。「鈍」「根」をよく実行したときに「運」は開け、ゆたかな心、ゆたかな生活がみえます。「運」は寝て待てということではありません。

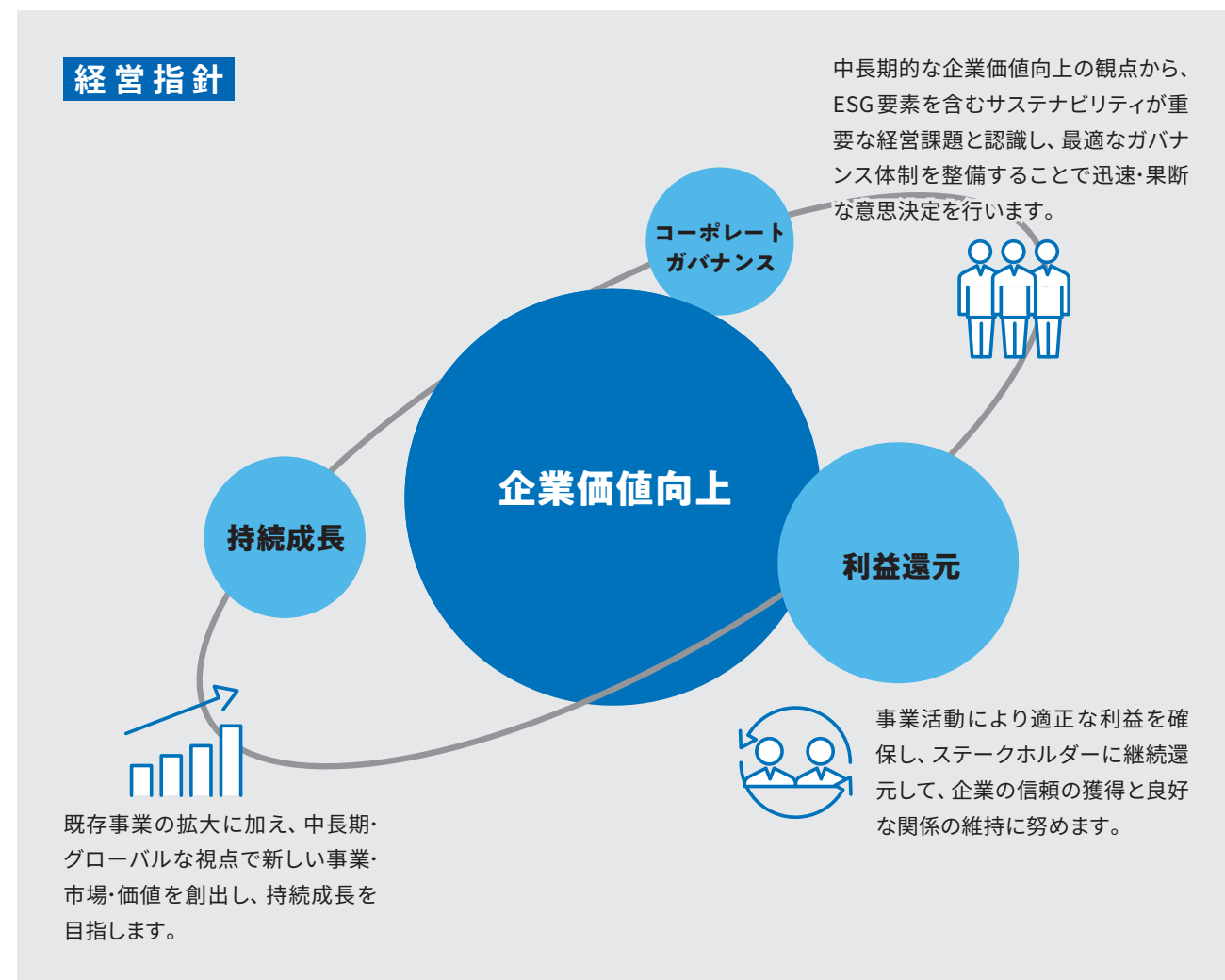
代表取締役社長

津田博之



経営理念

「人と時間」「人と環境」の分野で
新しい価値を創造し、
安心・快適で健全な社会の実現に貢献します。



サステナビリティ基本方針

私たちアマノグループは、「人と時間」「人と環境」の分野で、新しい価値を創造し、安心・快適で健全な社会の実現に貢献することを経営理念とし、その実践を通じて持続可能な社会の実現と企業価値の向上に努めます。

企業を含む社会全体でのサステナブルな取り組みが求められている中、対応すべき課題に対し積極的に取り組むとともに、「お客さま、取引先、株主、従業員、地域社会」の全てのステークホルダーに信頼され、評価される企業を目指してまいります。



S O C I A L

社会報告

人材育成方針

アマノグループは、「企業の成長」と「個人の成長」を目的として、主体的に考え行動する自律型人材を支援し、育てるための人材育成プログラムを実施しています。

社内環境整備方針

アマノグループは、社員一人ひとりの主体性と創造力、一人ひとりとの共存共栄を大切に、職場の安全と心身の健康を守るとともに、人権を尊重し、差別のない健全な職場環境の確保に取り組んでいます。

●人格・個性の尊重

アマノグループは、社員一人ひとりの人格や個性を尊重し、変革を恐れない自由闊達な企業風土を醸成するとともに、明るく、働き甲斐のある職場環境の維持に努めます。また、成果・業績主義に基づく客観的で公正な人事評価を行うとともに、専門性と創造性に富む個性豊かな人材を育成します。

そして、思想、信条、宗教、国籍、人種、性別、身体的特徴、財産、出身地等の理由で嫌がらせや差別のない健全な職場環境を確保します。

●プライバシーの保護

アマノグループは、社員の個人情報を適正取得し適切な管理をし、その取り扱いに際しては関係法令を遵守するとともに、社員のプライバシー保護に対して慎重かつ細心の注意を払います。

●安全で健康的な職場環境

アマノグループは、事業活動のすべてのプロセスにおいて人の安全、健康確保を最優先します。

特に、セクシュアルハラスメント、パワーハラスメント、マタニティーハラスメント、ジェンダーハラスメント、モラルハラスメント等については、人権を侵害し職場環境を害する行為であり、一切これを禁じ、また他人の行為を見逃しません。問題発生時には、迅速に調査し、被害者の救済と再発防止に向けた断固たる処置を取ります。

従業員との関わり



企業姿勢

今までもこれからも『人』とともに歩み、
『人』を育む会社でありたい。

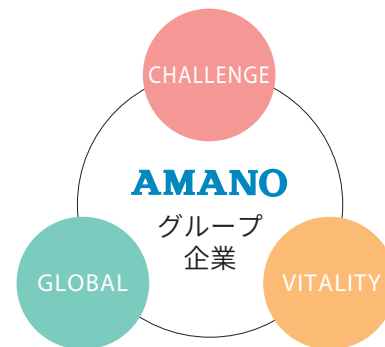
アマノの社章である三角マークは、ピンと張りつめた3つの弓形が三角形を構成し、社名であるAMANOの“A”を造形化しています。“A”はアルファベットの第1文字目、最高点を意味し、アマノのコンセプトである“フロンティア精神”“No.1の思想”“叡智と創造”を目指す事を意味しています。アマノの事業領域である「時間」「環境」の分野で常に挑戦を続け、マーケット志向と先進技術で世界に向かい躍進しようという企業姿勢を表しています。さらには、人材は人“財”であるという考えのもと、3つの弓形のエレメントが三位一体となって“人”の文字を中心に形成し人間重視の思想も表しています。弓形のエレメントそれぞれが意味しているようにアマノには“人を育てる環境”と“能力を発揮できる自由な風土”が整っています。また、その土台には“人と人との支え・競い合い無限の可能性に向かい自助努力する精神”があり、まさに『人』を中心とした企業風土が整っています。



求める人材

私たちは自身の企業活動によって企業を支える
全ての人々や社会が共に繁栄し、喜びを分かち合える、
そんな魅力ある企業であり続けたいと願っています。

アマノはお客様にとっても、社員一人一人にとっても魅力ある企業であり続けるために、時代の変革の流れを感じ、自らも変わり続けることのできる人、自ら考え行動できる人、新しいことにチャレンジできる人とともに、活気と活力に満ち溢れた人間集団を目指しています。



- CHALLENGE 挑戦する心**……………現状に満足し立ち止まることなく、常に挑戦する気持ちを持っている人
- GLOBAL 未知なる未来を創造する力**……………物事を幅広い視点で捉え、グローバルな発想・行動を展開することができる人
- VITALITY 生き活きた活動**……………自ら考え、進んで行動することのできる活力と活気に満ちた人

人材育成／教育研修制度(応募型)

応募型研修は、自ら学ぶ自律型人材を支援し、育てる人材育成プログラムです。各自の能力及び課題に合わせてスキルアップを図ります。受講目的や受講環境に合わせて、集合研修(オンライン研修)、eラーニング、通信教育の3種類を用意しています。

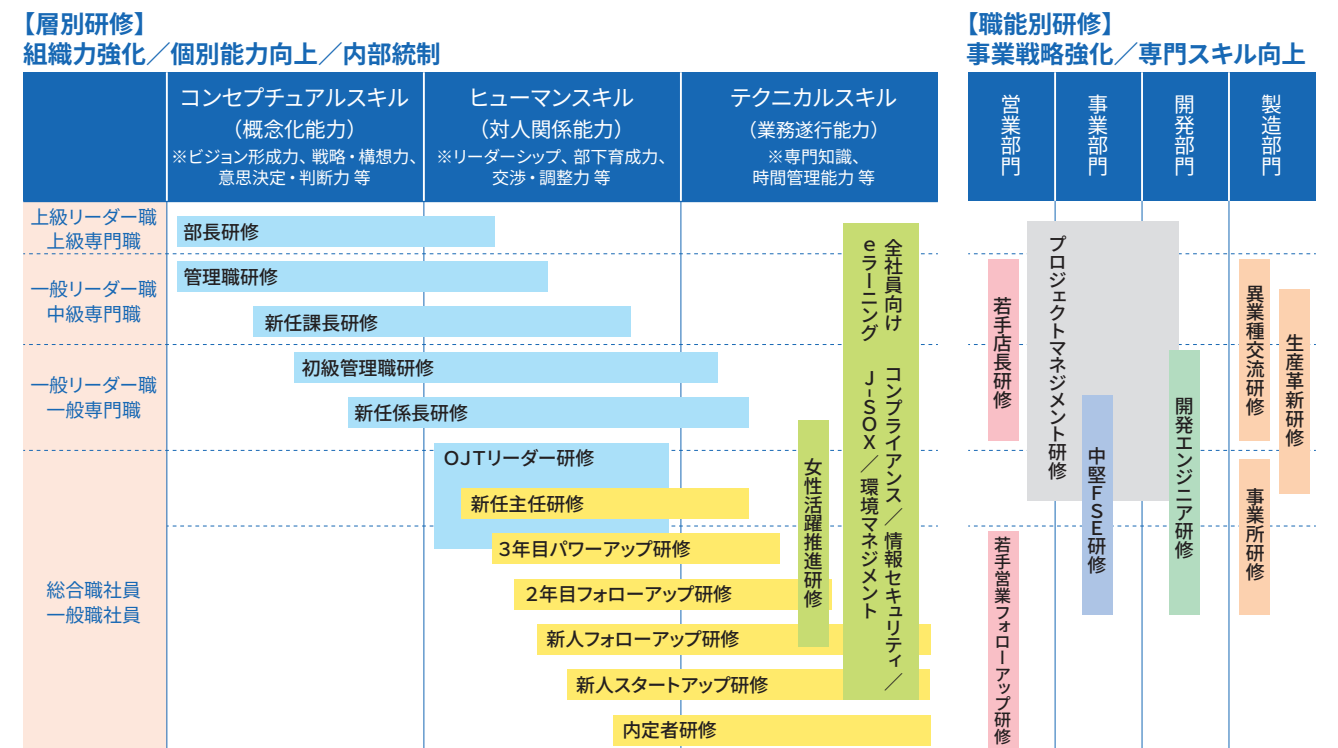


人材育成／教育研修制度(選抜型)

アマノは、将来に渡り成長・発展し続けていくために、社員個人の能力開発・人材育成を目的として、教育研修プログラムを用意しています。選抜型研修の層別研修では昇格前後に必要な考え方・スキルを学び、職能別研修では各職種に必要な専門スキルを学び、専門性を高めます。



●選抜型研修体系図



若手社員育成と新卒の定着率

若手社員育成

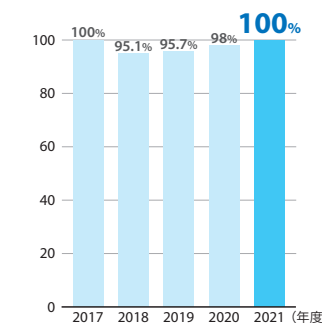
アマノでは入社3年間で一人前となることを目指し、入社1年目から3年目社員の育成にも力を入れています。1年目ではビジネススキルの習得と振り返りをメインテーマとし、OJTとOff-JTを組み合わせた取り組みを行っています。2年目は仕事の進め方の振り返りに加え、より高度なビジネススキルを学習します。3年目はこれまでの振り返りと今後のキャリアについて考えます。



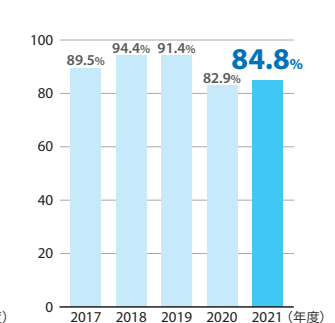
新卒の定着率

アマノの新卒社員の定着率は、次の通りです。新入社員が安心して働き成長できるよう、OJTリーダー(新人指導員)に対する教育を実施しています。また新入社員へは定期的にフォローを行っています。

●新卒1年後定着率



●新卒3年後定着率

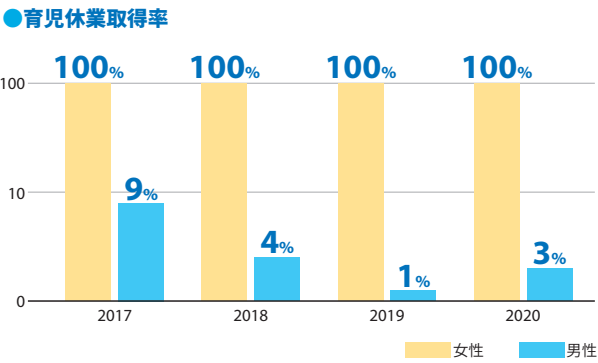


多様な働き方とワークライフバランスへの取り組み

アマノは、出産・育児・介護などのライフイベントに伴う、多様な価値観や働き方が求められる中、適正な労務管理の下、職種に応じた効率良い働き方とワークライフバランスに取り組んでいます。

育児休業制度

ここ数年女性の育児休業取得率は100%ですが、男性は2019年度1%、2020年度3%と非常に低くなっています。男性の育児休暇取得率向上の為に男女の育児休業制度の違いについて情報公開するなど、積極的なアナウンスを行っています。女性活躍推進法に基づく行動計画に男性育児休業取得率5%以上を策定し、今後更に啓蒙活動等を通して取得率向上を目指していきます。



時間有休制度

年間休日を127日と定めており、会社カレンダーによって年末年始・ゴールデンウィーク・お盆休みは連休となる他、アニバーサリー休暇(1日)、リフレッシュ休暇(最大10日)、有給休暇などを取得することができます。また、有給休暇には、1日単位、半日単位だけでなく、時間単位での取得も可能となっており、自身や家族の通院サポート、子供の学校行事への参加など、幅広く利用されています。

女性活躍推進

アマノでは、女性が活躍できる職種の拡大を目指すとともに、働きやすい会社を目指し、以下の取り組みを行っています。

女性活躍推進法に基づく取り組み

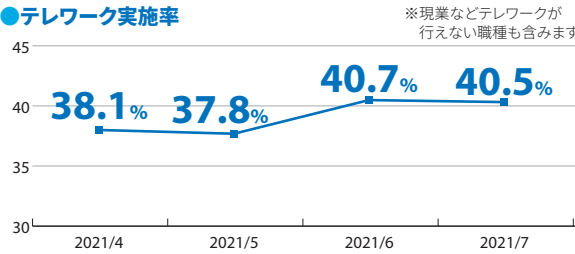
2016年度より女性活躍推進法に基づく行動計画を策定・公表し、取り組んでいます。第1期では、2020年度末までに合計70名の女性を採用する目標を掲げ、達成しました。2021年度より第2期の行動計画を策定し、取り組みを行っています。

目標1: 労働者に占める女性労働者の割合を16%にする。

目標2: 男性の育児休業取得率を5%以上にする。

テレワーク

在宅勤務等のテレワークによる柔軟な働き方に取り組んでいます。また、現業などテレワークが行えない職種においては、シフト勤務を導入するなど、勤務時間をスライドさせた働き方の工夫も行っています。



短時間勤務制度

育児休業制度から復帰した殆どの方が、短時間勤務制度を利用しています。仕事と育児の両立だけでなく、介護等による利用も増えており、ライフイベントに応じた働き方の一つとなっています。

ソーシャルサポートサービス

アマノでは、福利厚生サービスの一環として、働きやすい職場環境の提供と安心した生活を送る家庭環境をサポートすることを目的に、社会福祉事務所と「ソーシャルサポートサービス」の業務委託契約を締結しています。仕事と家庭の両立ができるよう親の介護や定年後の生活プラン等についての困りごとを専門家に相談できるサービスです。

女性従業員向けキャリア研修

自身のキャリアを考え、今後の仕事に活かすことができる人材を目指して「女性活躍推進研修」を実施しています。女性に限定せず男性も受講対象としています。研修受講者の実績は以下の通りです。

- 2017年:24名
- 2018年:23名
- 2019年:18名
- 2020年:15名



従業員の多様性

アマノでは、人格や個性を尊重し、思想、信条、宗教、国籍、人種、性別、身体的特徴、財産、出身地等の理由で嫌がらせや差別のない健全な職場環境を確保します。

障がい者雇用

様々な職場で健常者と一緒になって障害のある方々が活躍しています。安心して働けるようバリアフリーにするなど、安全に配慮した職場環境を整備するよう取り組んでいます。

アビリンピック(全国障害者技能競技大会)

障害を持つ従業員の技能向上・モチベーション向上を目的として、アビリンピックに参加しています。2010年から10年間に渡り参加をし、2020年全国大会「電子機器組立て」種目において「銅賞(3位)」を獲得しました。



アビリンピック

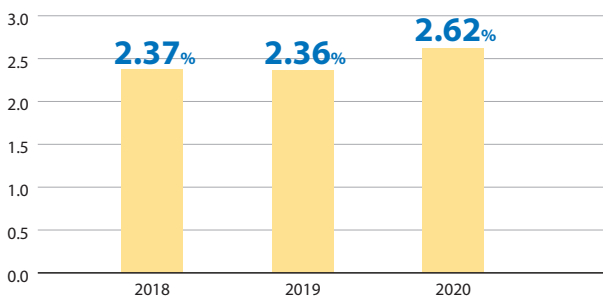
高齢者雇用

定年退職(満60歳の年度末)後に本人が引き続き勤務を希望した場合、嘱託契約として(満65歳の年度末まで)継続雇用しています。毎年、定年退職者の約90%が継続雇用され、会社の発展や、後進の育成に携わっています。また、65歳を過ぎた嘱託契約満了者へは、グループ会社(アマノマネジメントサービス)での駐車場管理(ご利用者への案内、釣銭・消耗品補充)などの再就職支援を行い、長きに渡り培ってきた知識や技術、経験を活かした新たな活躍の場を準備しています。

スペシャリスト制度

アマノは専門性の高いスキルを保有するスペシャリスト人材を育成するため、スペシャリスト制度を導入しています。職群(リーダー職、専門職等)に関係なく、専門性の高いスキルを保有した従業員をスペシャリストとして認定します。スペシャリストは保有しているスキルを活かし、新しいものを生み出すことで業績向上に貢献しています。またその分野の第一人者として、継続的に自己研鑽を積み、専門性の向上に努めています。

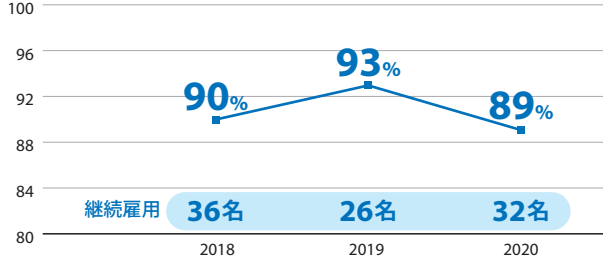
障がい者雇用率



※アビリンピック…障害のある方が日頃培った技能を互いに競い合うことにより、その職業能力の向上を図るとともに、企業や社会一般の人々に障害のある方々に対する理解と認識を深めてもらい、その雇用の促進を図ることを目的として開催しています。



高齢者継続雇用率



労働安全衛生・防災の取り組み



労働安全衛生

アマノで働くすべての従業員が安全・安心に、そして快適に、気持ちよく働くことができるように、定期的な作業環境測定（騒音、粉じん、有機溶剤、熱中症指数）を各サイトの特性に合わせて実施し、職場環境づくりを行っています。

各サイトは安全衛生委員を選任し、毎月1回、定期的に各職場を安全パトロールすると共に、交通安全講習会や日本赤十字社による救急法の開催、安全衛生活動などを積極的に推進しています。また常時、職場の改善提案等を採用し、安全配慮に努めています。『全国安全週間』の月には啓蒙活動の一環として、従業員やご家族から“安全標語”と“安全ポスター・ぬりえ”を募集し、優秀作品を食堂に掲示しています。『全国労働衛生週間』には講演会等を実施して一年を通じて職場安全・衛生に対する意識付けを行っています。



安全ポスター・ぬりえ

保安防災への取り組み

各サイトでは、地震による有害物流出、設備の転倒や工場出火などの様々な緊急事態を想定して、被災時の行動指針を制定し、緊急事態対応訓練や従業員教育などを定期的に実施しています。

地震発生時の対応に関する行動指針

大地震に備え、『地震発生時の対応に関する行動指針』を全従業員に周知し、災害発生時の基本方針や行動基準を徹底しています。各サイトでは独自に、より具体的な『防災マニュアル』を作成し、所員全員に緊急時の行動基準を指導しています。

安否確認システム

緊急時に備え、事業継続計画（BCP）の一環として、国内グループ会社を含む全従業員の安否を迅速・正確に確認できる安否確認システムを導入し、定期的に運用訓練を実施しています。

初動対応チェックリスト

大規模災害の発生時における来訪者や従業員の安全、及び会社設備の保全に係る適切かつ迅速な初動対応のために『初動対応チェックリスト』を作成し、実施運用をしています。

防災訓練

本社、相模原事業所は、地震発生に伴う火災を想定した防災訓練を、細江事業所では津波の発生を想定した防災訓練を実施しています。消火班、救護班、情報連絡班、避難誘導班など災害発生時の役割分担に基づき、避難訓練及び消火訓練などを実施しています。相模原事業所では、2019年11月29日に消火訓練、通報訓練、避難訓練、屋内消火栓放水訓練を実施しました。細江事業所では、2019年11月14日に津波発生を想定した避難訓練を実施しました。本社では、2019年10月1日に大規模地震発生を想定した避難訓練を実施しました。

※アマノは新型コロナウイルス感染症のまん延防止に取り組んでいます。3密を避けられない訓練の実施は困難であることから、2020年度の実施は見送りました。



転倒防止対策



相模原事業所 消火訓練



細江事業所 防災訓練

健康管理・メンタルヘルス

アマノグループでは従業員の健康管理を経営的な視点から考え、戦略的に「健康経営」を推進していくため「健康経営宣言」を制定した他、専任産業医と看護師が、従業員の健康管理を行っています。

1. 定期健康診断、肺がん・胃がん・大腸がん検診（30歳以上の従業員には生活習慣病検査を導入）
2. 従業員・被扶養者を含む健康づくりの促進（人間ドック・乳がん・子宮がん検診、骨密度測定の実施）
3. 定期的な保健指導、健康相談等での従業員支援（支店を含めた面接・電子メールや電話での個別相談に対応）
4. 各サイトの電子掲示板を活用した健康情報の提供、健康教育
5. メンタルヘルス（心の健康管理）保健スタッフによる“こころのケア”面接の実施、電話での相談・支援、医療機関へ結びつけ、職場復帰支援
6. 安全衛生委員会での安全・健康づくりの支援活動
7. 外部講師による講習会（健康・メンタル・栄養指導・救急法等）の実施
8. 外部スポーツクラブと提携し、心身の健康増進を図る
9. インフルエンザワクチン予防接種を希望者に実施
10. 事業所の規模に関わらず、ストレスチェックを全従業員に実施

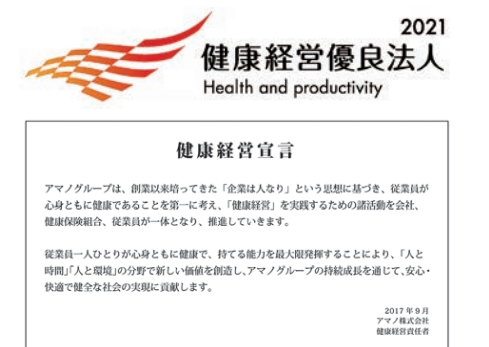
健康経営優良法人2021

アマノは、経済産業省と日本健康会議が進める健康経営優良法人認定制度において、「健康経営優良法人（大規模法人部門）2021」に認定されました。健康経営優良法人認定制度とは、従業員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に取り組んでいる大規模法人を認定する制度です。2021年2月に認定を受けました。

【関連情報】

●経済産業省 健康経営優良法人認定制度ホームページ
<http://www.meti.go.jp/press/2020/03/20210304005/20210304005.html>

●アマノ株式会社 健康経営宣言
<https://www.amano.co.jp/corp/healthmanagement.html>



AED（自動体外式除細動器）の配備と講習

各サイトへAED（自動体外式除細動器）を配備し、ご来社された方や地域の皆様、従業員の万一の事態に備えています。迅速かつ適切にAEDが使用できるよう、心肺蘇生法とAEDの使い方について講習も行なっています。



新型コロナウイルス感染予防対策

従業員の安全・健康を最優先に考え、感染予防に努めています。テレワークの活用や、Web会議の利用促進、国内外への出張の自粛を行っています。各サイトでは各所に非接触体温計と、消毒作業に必要な物品を用意し、飛沫防止のためパーテーションをテーブルに設置しています。また食堂の利用時間を分け、密集を避ける工夫をするとともに各テーブル・椅子・給茶機に抗菌コーティングをほどこし、自社製品である業務用空気清浄機「あまつかぜ」を設置し、広い空間の空気を清浄するだけでなくウイルスを吸引・抑制する機能で、安心して食事ができる空間を提供しています。



品質・顧客満足

アマノの品質活動(品質マネジメントシステム)

高品質で安全・安心の製品・システム・サービスをお客様にご提供することは、メーカーの社会的責務です。

アマノは“顧客満足の最大化”を維持するために、本社(パーキングシステム機器の設計・開発及び製造)が1997年11月に、相模原事業所(時間管理機器・情報システム機器・パーキングシステム機器の製造)が翌1998年1月に、細江事業所(環境システム機器・クリーンシステム機器の設計及び製造)が1999年3月に、品質マネジメントシステムの国際標準『ISO9001』の認証を取得しました。

2014年4月の事業所統合により、相模原事業所・本社で『ISO9001』の認証を更新しています。2017年7月には相模原事業所・本社が「駐車場管理機器の設計・開発及び製造」「タイム情報機器、タイムレコーダーの設計・開発及び製造」で、細江事業所が「集塵装置、粉粒体輸送装置及び清掃機器の設計及び製造」でISO9001:2015への更新を行っています。

各事業所は、『ISO9001』品質マネジメントシステムのPDCAサイクルを適正に維持し、継続的な改善を実施し、常にお客様に最高・最良の製品・サービスをご提供できるように努めています。

●各事業所の認証取得情報

事業所	対象規格	認証機関	審査登録番号	初回登録日	更新日	有効期限
相模原事業所・本社	ISO9001:2015	SGS	JP98/011884	1998/01/08	2020/07/03	2023/07/03
細江事業所	ISO9001:2015	SGS	JP99/015829	1999/03/25	2020/07/05	2023/07/05

生産マイスター検定

生産マイスター検定とは、ものづくりに関わる管理者、第一線監督者、グループリーダー、生産ライン担当者の方々が、役割・品質・コスト・納期・安全・環境(R・Q・C・D・S・E)の知識・能力をどの程度有しているか、またそれぞれの階層に応じて、生産マネジメント知識・能力、生産革新への役割をどの程度有しているかを判断し、認定、証明するものです。

アマノでは更なる品質の向上を目指し、生産マイスター検定(旧称:生産能率士)の資格取得を推進しています。



生産マイスターオリジナルワッペン
スキルの見える化及び取得意欲の向上を目的とし、アマノオリジナル生産マイスター刺繍ワッペンを有資格者に配布し、着用しています。

改善提案活動

製造現場で、製造効率・品質向上につながる意見を誰でも提案できる活動を全事業所で展開しています。

また、「ヒヤリハット」「なぜなぜ分析」等、不良、不具合が発生した場合に真の原因を見つけ、有効的な再発防止および未然防止対策を図っています。

サポート・サービス体制

「製品・システムの導入からアフターメンテナンスまで、メーカーが責任をもってサービスを行う」これがアマノの基本姿勢です。

全事業活動の座標軸を顧客満足度におき、お客様の声に耳を傾ける「顧客第一主義」を基本方針として、市場のニーズに合致した品質とコストを追及した製品・ソリューション・サービスの提供と充実したアフターサポート体制を整えています。

全国に広がるサービスネットワーク

アマノは北海道から沖縄まで、支店・営業所、駐在所・営業部(72店)、システムセンター(25店)と営業・サービス拠点を全国に設置し、全国くまなくフォローする拠点ネットワークを構築しています。

さらに、最先端研究開発から様々なサービス業務まで、国内グループ企業7社と共に、お客様に変わらぬ信頼と満足を提供し続けてまいります。

社会貢献活動



こどもエコクラブ

「こどもエコクラブ」は、公益財団法人日本環境協会が、自治体・企業・団体などから支援や協力を経て、全国の事務局から環境活動のプログラムや場の提供をしています。「時間」と「環境」を事業テーマとするアマノでは、子供たちの環境保全活動や環境学習を支援し、自然を大切に思う心や、環境問題解決に自ら考え行動する力を育成し、地域の環境保全活動の環を広げることを目的としたこの活動に賛同し、パートナー会員として支援してまいります。



こどもエコクラブ HP 画面
<http://www.j-ecoclub.jp/>

献血活動

定期的に各サイトにて社員を対象に献血を行っています。病気やけがなどで輸血を必要としている患者さんの尊い生命を救うため、血液は大切です。当社ではこの理念を理解し、今後とも日本赤十字社に協力していきます。



相模原事業所食堂での地産地消

地元の農業や関連産業の活性化につながる取り組みとして、2020年7月より相模原事業所食堂にて地産地消を開始しました。毎月第1、第3金曜日に相模原市緑区長竹産の食材を使ったメニューを提供しています。



障がい者施設への作業発注

障がい者の自立を支援する取り組みとして、相模原市内の社会福祉法人へタイムカードや社員用ラベルの梱包作業を発注しています。



スポーツ振興

女子プロゴルフ・吉田弓美子選手スポンサー

アマノ本社所在地と同じ神奈川県出身の女子プロゴルファー 吉田弓美子選手を弊社所属選手として応援しています。



ノジマステラ相模原の活動を応援

日本女子サッカーリーグ所属の「ノジマステラ神奈川相模原(WEリーグ)」をスポンサーとして応援しています。

サッカークラブ「大豆戸FC」の活動を応援

横浜市港北区大豆戸を拠点とするサッカークラブ「大豆戸FC(フットボールクラブ)」をオフィシャルクラブパートナーとして応援しています。

相模原カヌー協会の活動を応援

相模原事業所近隣の相模原市の道志川を拠点に活動している「相模原カヌー協会」を協賛企業として応援しています。

スポーツクラブ活動(ライフル射撃部)

2019年4月にライフル射撃部を設立しました。“地元選手を世界の舞台に”を目標に、所属選手の強化・育成と共に、ライフル射撃競技の発展にも取り組んで参ります。



ENVIRONMENTAL

環境報告

環境理念

アマノ株式会社(以下、当社)は「人と時間」「人と環境」をテーマに、環境と経済のバランスのとれた“持続可能な社会”の構築に貢献することが社会的責務との認識に立ち、広い視野をもって常に環境保全に配慮した事業活動及び環境経営を推進します。

環境方針

基本方針

当社は「環境理念」に基づき、製品の研究開発から生産・販売及びサービスに至るまで、事業活動のあらゆるシーンで、高い環境品質の実現・維持を目指します。

行動方針

- 常に環境に配慮した事業活動を実践するための組織及び運営体制を整え、継続的に維持・改善するアマノ環境マネジメントシステムを確立します。
- 当社で働くすべての人が環境関連の法律・規制及び社内基準を遵守します。
- 生産・販売・サービスに至る事業活動全般に対し業務効率の向上・合理化、リデュース、リユース、リサイクル等、資源の有効活用及び環境配慮に努めます。
- 環境負荷の低減を目指した製品の研究・開発・生産に努めます。
- 当社で働くすべての人に環境教育を実施し、環境意識向上及び啓発に努めます。
- この「環境方針」は当社で働くすべての人に周知徹底すると共に要求に応じて一般にも開示します。

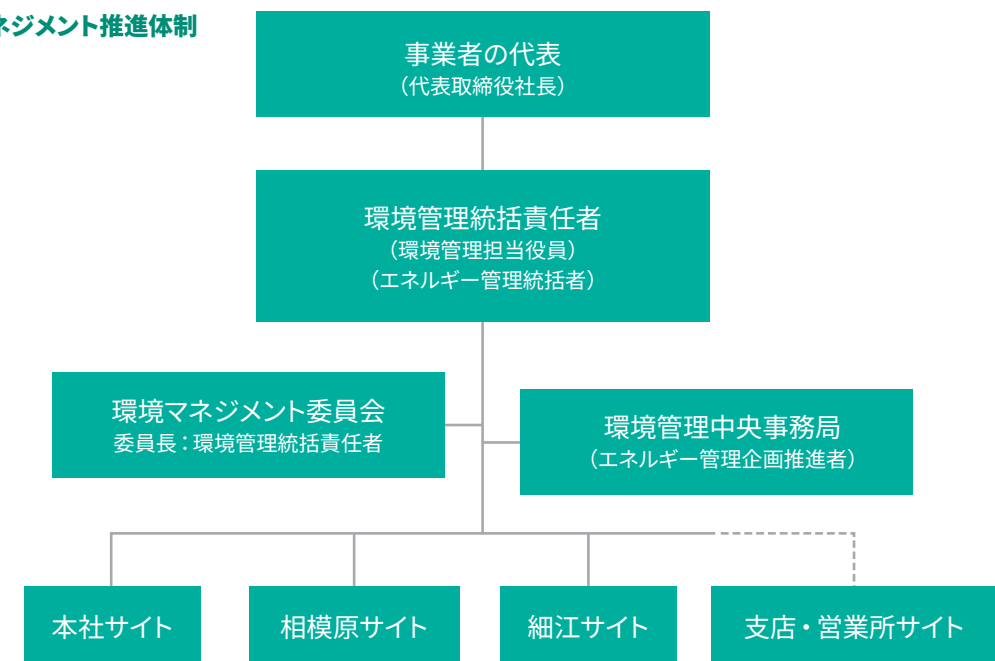
制定：2004年3月10日
改定：2011年4月1日

環境マネジメントシステムの取り組み

環境マネジメントシステムの取り組み

アマノは、環境と経済のバランスのとれた“持続可能な社会”の構築に貢献することが社会的責務との認識に立ち、常に環境保全に配慮した事業活動及び環境経営を推進するため、環境マネジメントシステムを構築し、環境問題に自らが積極的に取り組み、全社的な環境配慮型行動を推進しています。

●全社 環境マネジメント推進体制



ISO14001認証取得情報

1999年8月に細江事業所が取得、2000年1月に相模原事業所が取得しました。2007年4月には旧都田事業所及び同事業所敷地内に所属するグループ会社・株式会社環境衛生研究所が取得しました。2014年4月に事業所の統合を行い、細江事業所、相模原事業所でISO14001:2004を取得しました。2017年7月には細江事業所が「集塵装置及び清掃機器の設計、製造及びメンテナンス」「粉粒体輸送装置の設計及び製造」「作業環境に係る測定」で、相模原事業所が「駐車場管理機器の製造」「タイム情報機器、タイムレコーダーの製造」でISO14001:2015への更新を行っています。

●各事業所の認証取得情報

事業所	対象規格	認証機関	審査登録番号	初回登録日	更新日	有効期限
相模原事業所	ISO14001:2015	SGS	JP00/017315	2000/01/24	2020/07/03	2023/07/03
細江事業所	ISO14001:2015	SGS	JP99/016547	1999/08/13	2020/07/05	2023/07/05

環境負荷低減の取り組み



CO₂削減目標

アマノは温室効果ガスの排出低減に向けて、2021年12月にCO₂排出量の削減目標を策定しました。地球温暖化防止のため、今後もCO₂排出量の削減に取り組んでまいります。

CO₂排出量の削減目標：【2030年度に2013年度基準で46%削減する】

※対象はscope1+2

省エネルギー活動の推進

CO₂排出量削減に向けて各サイト毎に省エネ活動推進に取り組んでいます。エネルギー削減には電力使用量及びガソリン燃料の削減が最も効果的であるため、その削減に向けて各サイトが知恵を出し合って、地道な省エネ活動を展開しています。

各サイト共通の省エネ対策は以下の通りです。

- 適切な空調温度設定 (COOL BIZ、WARM BIZの実施)
- 照明のLED化と節電の徹底
- 節水 (蛇口の開け閉めの適切な管理)
- パソコン関連の省エネ実施 (電源OFF)
- 設備機器の省エネ対策及び改造等の実施
- コピー機等の更新は省エネ複合機選定で台数削減
- 清掃業者への環境指導 (ごみ分別・排水など)の実施
- 全社的なエコドライブの推進
- 長期休暇中の待機電力削減の取り組み



エアコンを更新(本社)



GHP エアコンを更新(細江事業所)



リフロー炉の更新(相模原事業所)



エアコンを更新(相模原事業所)

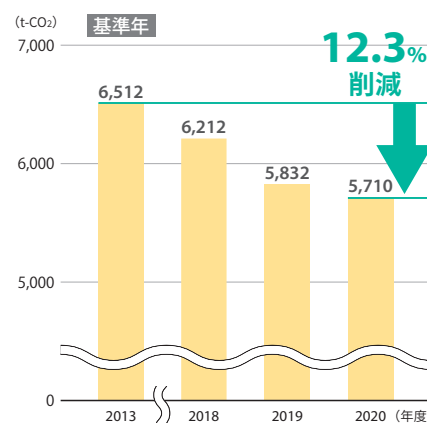


LED灯に更新(細江事業所)



LED灯に更新(細江事業所)

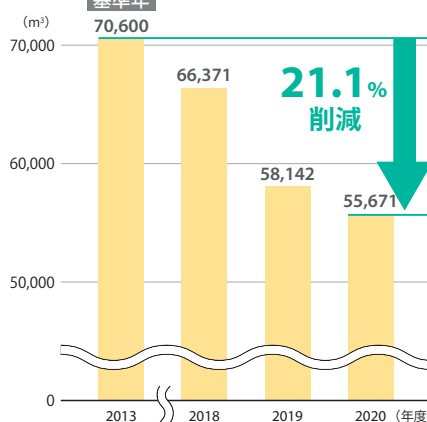
CO₂排出量(全社)



※改正省エネ法に基づき、都田生産部と同じ敷地内に所在する(株)環境衛生研究所は算定から除外しています。

※公道を走る社用車の燃料(ガソリン・軽油)使用量を算定から除外しています。

水使用量(全社)



支店・営業所の取り組み



営業・サービス部門での省エネ活動

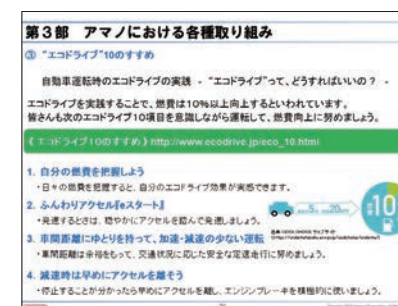
営業・サービス部門は、2007年度から各エリア拠点での環境負荷データ(電気・ガス・ガソリン等燃料、水道使用量ほか)の収集を始め、数値把握を行っています。また、支店・営業所での総エネルギー使用量に対する電気使用量の割合が、原油換算比で大半を占めるため、常日頃からの節電・省エネ活動を徹底しています。



社用車の利用についての取り組み

公道を走る社用車のガソリン・軽油については、総務部門が全従業員用の掲示板に変動する給油価格を表示してコスト意識の徹底を行っております。2018年8月から社内で保有する約700台の車両にテレマティクスシステムを導入し、急発進・急減速・速度超過等の運転状況の見える化による、運転マナーの向上(事故の撲滅)やエコドライブの意識向上を図っています。特にエコドライブについては全従業員教育に『エコドライブ10のすすめ』を盛り込む事による啓発活動も行っています。

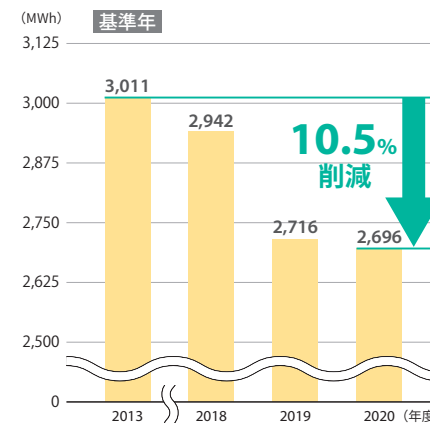
※テレマティクス…車両に通信モジュールを搭載してGPSによって運転情報を収集して、管理者が使用状況を把握するシステム



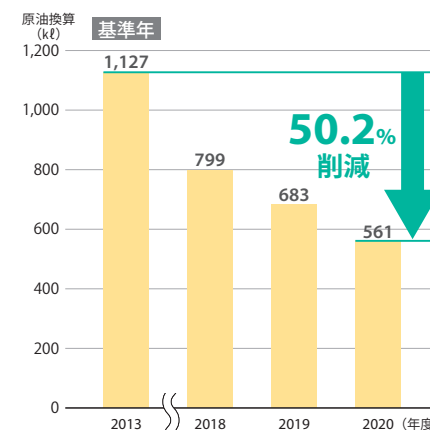
出典：COOL CHOICE ウェブサイト(<http://ondankataisaku.env.go.jp/coolchoice/>)

また、「エコドライブ」(環境省(COOL CHOICE事務局))(<http://ondankataisaku.env.go.jp/coolchoice-e/ecodriver/point/>)より画像を抜粋して使用

電力使用量(支店・営業所)



燃料使用量(支店・営業所) ガソリン・軽油



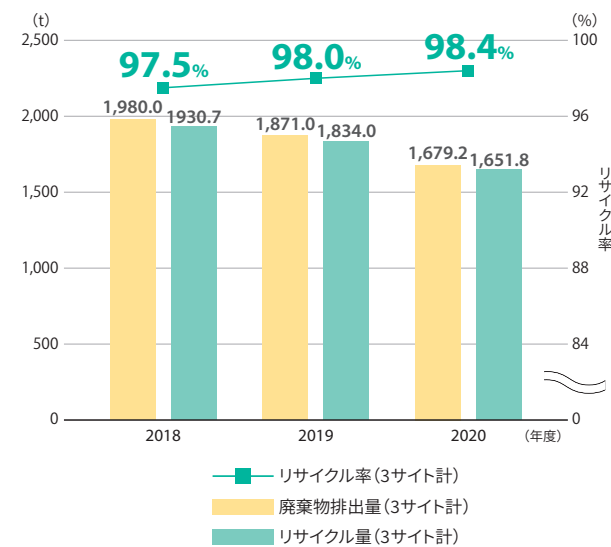
廃棄物削減の取り組み

産業廃棄物の廃棄総量削減

3サイト(本社・相模原事業所・細江事業所)の2020年度産業廃棄物総排出量は、前年度に比較して10.3%(192t)の削減となりました。また、分別の徹底によりリサイクル率は98.4%となっております。引き続き適切なゴミ分別を進め、廃棄物排出量の削減とリサイクル率の向上を目指していきます。



● 廃棄物総排出量およびリサイクル量



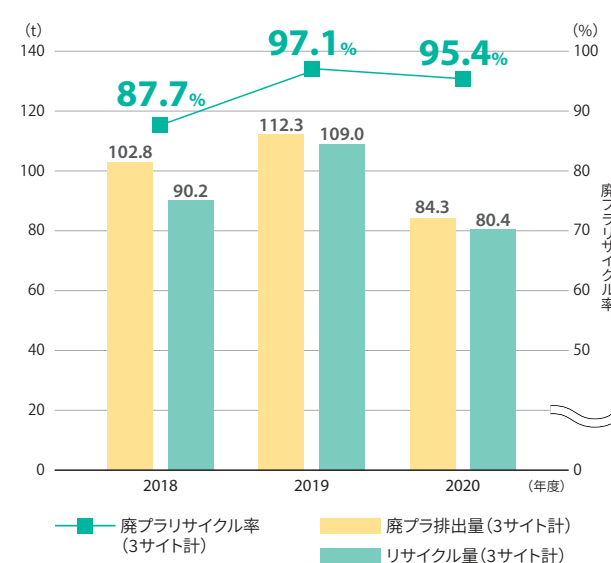
	2018年度	2019年度	2020年度
廃棄物総量(t)	1,980.0	1,871.0	1,679.2
最終処分される量(t)	49.3	37.0	27.4
再資源化(リサイクル)量(t)	1,930.7	1,834.0	1,651.8
再資源(リサイクル)率(%)	97.5	98.0	98.4

廃棄プラスチックのリサイクル推進

3サイト(本社・相模原事業所・細江事業所)の2020年度廃棄プラスチック総量が84.3tとなり、前年度と比較し25%削減しました。リサイクル率も95%以上を維持となりました。今後も分別意識の徹底と共に、全従業員教育等によるリサイクル推進に努めていきます。



● 廃プラ総排出量およびリサイクル量



	2018年度	2019年度	2020年度
廃プラ総量(t)	102.8	112.3	84.3
廃プラ実廃棄量(t)	12.6	3.3	3.9
廃プラリサイクル量(t)	90.2	109.0	80.4
廃プラリサイクル率(%)	87.7	97.1	95.4

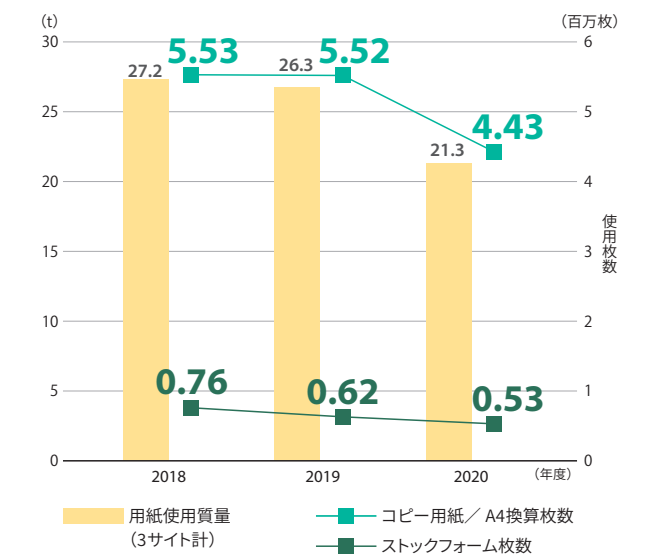
コピー用紙使用量の削減

3サイト(本社・相模原事業所・細江事業所)は、コピー用紙使用量削減に向けて、「両面印刷や「紙出力をせず電子化」、会議・打合せの席での紙資料配付低減など「紙使用量を前年度実績より増加させない」などの取り組みを継続実施しています。また、従来のプリンターとコピー機を複合機へと更新を順次進めて、文書電子化による紙削減活動に努めています。

2020年度は用紙使用総重量前年度比で19%の削減となりました。今後もポスター掲示等の啓蒙活動を継続して資源の有効活用に取り組んでいきます。



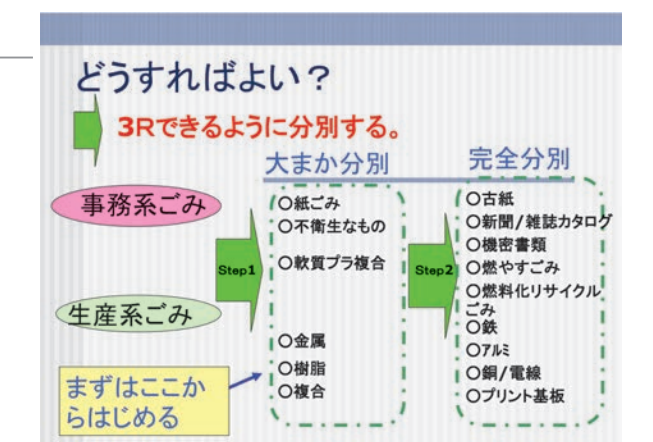
● 紙使用量(コピー用紙+コンピューター用紙)



	2018年度	2019年度	2020年度
紙の使用質量(t)	27.2	26.3	21.3
コピー用紙/A4換算(百万枚)	5.53	5.52	4.43
ストックフォーム枚数(百万枚)	0.76	0.62	0.53

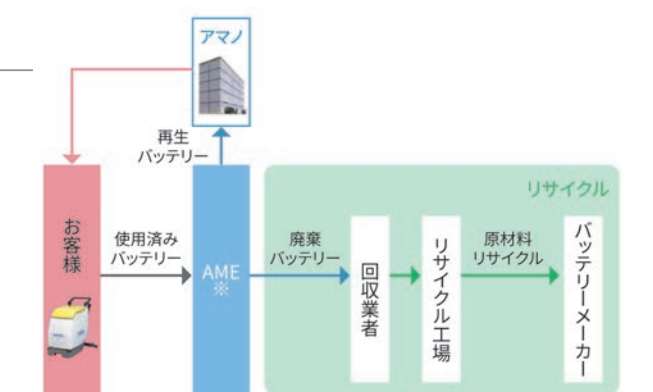
分別意識の啓蒙と徹底

3サイト(本社・相模原事業所・細江事業所)は、紙及び廃棄プラスチック類のリサイクル率向上のために、フォローアップ勉強会や廃棄物分別パトロールなどを実施することにより、意識の向上を図っています。また、相模原事業所では、サーマルリサイクル化(燃料化)している工場を実際に視察し、燃料化していることを確認実施しました。今後も定期的な視察を予定しています。



バッテリーリサイクル

2012年12月より、クリーン製品で使用済みとなったバッテリーを回収し、全てを再利用処理(リサイクル)をする事で、循環型社会に寄与する取組を推進しています。2020年度は128t(約4,570個)を再利用処理しました。



※AME：アmanoメンテナンスエンジニアリング株式会社

環境配慮型製品



省エネルギー活動の推進

アマンは、開発・改良する自社製品に対し、省エネ性、省資源(リデュース、リユース、リサイクル)、安全性、環境負荷化学物質管理などを考慮した、環境配慮化設計を推進しています。

チケットレス精算機(GT-4100)

駐車券の代わりに、ナンバープレートを活用して車両管理や駐車料金の徴収を行う『車番チケットレスシステム』の精算機「GT-4100」を2020年7月に発売しました。駐車券や割引券などの磁気券を使用しない為、廃棄ゴミを削減できます。



GT-4100

あまつかぜ

UV-C紫外線ランプによるウイルス抑制機能を搭載したエアロゾルコレクター「あまつかぜ」を2020年9月に発売しました。

○特徴

電気集塵式を採用しており、同じ性能のフィルター式(一般的な空気清浄機)と比べて大型フィルターと、それに空気を送る大型ファンが不要です。高性能捕集効率と低圧損から高性能と省エネを両立しています。フィルターを使用しない為、捕集部に使用している電極は洗浄して再利用が可能です。



あまつかぜ

電解水生成装置

電解水生成装置は、水に少量の食塩を加えて電気分解し、[次亜塩素酸水(酸性電解水)]と[アルカリ性電解水]の2種類を生成します。電解水は正しい使い方をする事で、次のような特徴を持ち、人の安全や環境に配慮して衛生的な環境を作ることが可能です。



α-Light Pro

α-CUTE

○特徴

1. 次亜塩素酸水(酸性水)は様々なウイルス・菌に対し、高い除菌効果があります。
2. 水と塩のみから生成し、人に対する安全性が高いです。
3. 排水は界面活性剤を使用した場合と異なりCO₂を発生しません。※1
4. 洗剤を使わないので、排水による河川や海洋の汚染が軽減されます。

※1 界面活性剤は、排水処理の過程でCO₂が排出されます。

化学物質管理



製品のRoHS2対応

電気電子機器をリサイクルや処分する際に、有害物質が人や環境に影響を与えないよう、欧州で2013年1月に施行されたRoHS2指令では、特定有害物質の使用を制限しています。従来はカドミウム・水銀・鉛・六価クロム・PBB(ポリ臭化ビフェニール)・PBDE(ポリ臭化ジフェニールエーテル)の6物質が指定されていましたが、2019年7月からフタル酸エステル4物質(DEHP(フタル酸ジ-2-エチルヘキシル)・BBP(フタル酸ブチルベンジル)・DBP(フタル酸ジ-n-ブチル)・DIBP(フタル酸ジイソブチル))が追加され、現在は合計10物質が特定有害物質に指定されています。アマンではこれに合わせて対象10物質全廃に向けて取り組んでいます。また、環境社内標準類として「RoHS規制管理規定」等を策定して、生産製品のRoHS2対応進捗状況の確認を行っています。

*RoHS(Restriction of the use of certain Hazardous Substances in electrical and electronic equipment)

RoHS2対応製品(一部)



PRTR指定化学物質管理

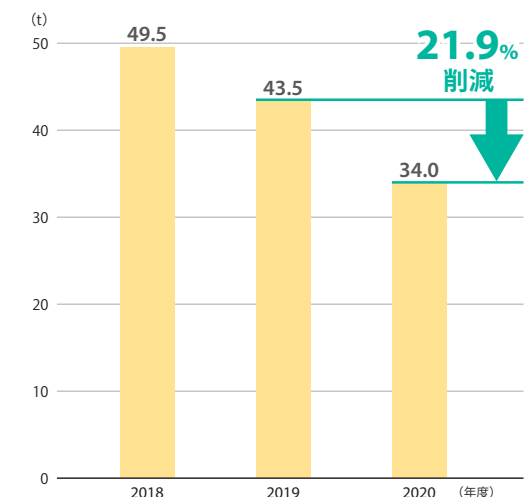
PRTR(環境汚染物質排出・移動登録)制度の対象となっている化学物質に関して、法に基づき排出する物質の種類と取扱量を適正に把握し、毎月集計を行い自治体に報告しています。対象物質のうち、届出・報告が必要な取扱量が1トン以上の指定化学物質については、細江事業所でトルエン(12.3t)、キシレン(12.1t)、エチルベンゼン(8.7t)の3物質を報告しています。(2020年度)細江事業所では、VOCの削減に向けて、2020年度も引き続き、有機性塗料・シンナーの適正発注(リピート性の高い特注塗料の在庫管理による流用等)及び適正使用(塗装色変更時の回数削減、洗浄用シンナー再利用)のシステム構築・推進を行いました。

*VOC(Volatile Organic Compounds)

PRTR対応物質取扱量推移

3サイト合計での取扱量は、2020年度は前年度に比較して21.9%削減しました。対象物質の代替、部品の代替による廃止など、継続して推進しています。

●PRTR対応物質取扱量推移



PRTR指定化学物質管理	2018年度	2019年度	2020年度
3サイト計(t)※	49.5	43.5	34.0

※都田生産部のデータを含みます。

グリーン調達取り組み



アマノグループ調達基本方針

1. 公正・公平でオープンな最適調達

お取引先様に対し、企業規模や取引実績の有無だけで評価することなく、オープンで公正・公平な取引の機会を提供致します。お取引先様の選定に際しましては、QCDバランスに加えて、安定性、技術・開発力、情報開示の透明性、法令・社会規範の遵守等を総合的に勘案します。

2. 信頼関係に基づく相互発展

資材調達取引を通じて、お取引先様との共存共栄・相互発展を図って参ります。そのために、お取引先様と長きにわたり相互理解の下、信頼関係の維持・向上に努めます。

3. 法令・社会規範の遵守

当社は資材調達活動に於いて、下請法・派遣法はじめ関連法規や社会規範を遵守します。お取引先様に於かれましても、皆様が事業活動を行なっている地域の、関連する法令・社会規範の遵守をお願い致します。

4. 環境に配慮したグリーン調達

当社は環境に配慮した開発・設計・生産活動を推進しています。そのために、環境に配慮されたお取引先様から、環境負荷の少ない資材を調達することで、お取引先様と連携した環境保全の向上を進めて参ります。

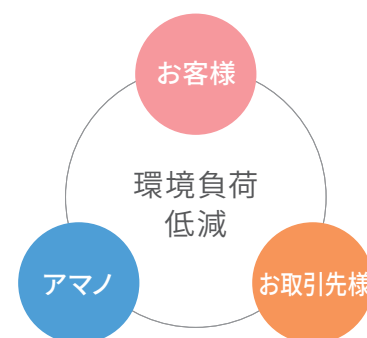
5. 適切な情報の管理

取引に於いて知り得たお取引先様の機密情報、個人情報適切に管理し、保護します。

グリーン調達の推進(グリーン調達ガイドライン)

サプライチェーンでの環境負荷低減を目指し「アマノ株式会社グリーン調達ガイドライン」を策定。このガイドラインに基づき、お取引先様に対して、納入原料・材料、部品、ユニットなどの半製品に対しアマノ指定有害物質含有の調査等を行っています。なお、主な内容は以下の通りです。

- 調達する原材料及び部品ごとに規制化学物質の含有調査の実施。(chemSHERPAファイルの提出)
- アマノ指定製造工程使用禁止物質を製造工程で使用しない。(不使用証明書の提出)



グリーン購入・調達活動

- 総務関連設備・備品類の購入は、1999年からエコマーク商品や省エネ機器の導入を推進しています。文具事務用品他の購入品についてもグリーン商品に切替えを継続中です。2020年度のグリーン購入率は53%です。(文具事務用品)
- 廃棄後のリサイクル対応が十分に考慮された製品を選定・購入するようにしています。
- コピー・FAX複合機などのエネルギーを大量消費する電子機器は、機能を十分に比較検討した上で省エネ効果が高くコストパフォーマンスに優れた機種を選定し、切り替えを推進しています。
- 使用可能な機材・備品については、極力修繕して、最終廃棄するまでの寿命を少しでも延ばす施策を実施し、単なる更新による廃棄を低減させています。

- 設備更新時の資機材・設備品については、省エネ対策が施されたもの、環境配慮されたものを導入することになっています。
- 生産用部品の購入時、木枠・重量物パレットの返却・再利用、梱包材のリユース、通い箱の導入など、廃棄物削減施策を実施しています。



製品梱包の簡略化



緩衝材の再利用

- グリーン購入ネットワークへの加入。2004年にグリーン購入ネットワーク※(GPN)に加入しました。
※グリーン購入ネットワーク:グリーン購入を推進するために1996年に設立された全国ネットワーク組織。
- 従来からの手法(紙帳票による見積り)を改善し、電子見積書の仕組みを推進しています。

サプライチェーンへのchemSHERPA説明会

グリーン調達を実行する為、アマノではchemSHERPA(ケムシェルパ)の導入を行っております。お取引先様が円滑に導入できるよう、集合研修を各サイトで実施しています。

〈活動状況〉 本社サイト

2019年7月に集合研修実施(約60社、90名)
2020年度…個別説明2社実施

細江サイト

2019年8月に集合研修実施(44社、40名)
2020年度…個別説明2社実施



サプライチェーンとの情報共有

専用ウェブサイトにて、お取引先様との円滑な情報共有を実現。

主な情報共有

- 発注事前情報
- グリーン調達ガイドライン
- 本社資材部からのお知らせ

生物多様性への取り組み

アマノでは、生物多様性保全を目指し取り組みを行っています。

保全活動、関係する地域社会との協調、環境技術の開発などの取り組みをこれからも継続してまいります。

神奈川県森林再生パートナー制度

パートナー企業の社員による森林ボランティア活動を通じて、森林再生・保全事業の支援・協力を行っていく神奈川県が主催する制度で、2020年4月に森林再生パートナーに加わりました。神奈川水源の森林づくりとして、神奈川県内(城山ダム、宮ヶ瀬ダム、三保ダム等の上流)を中心とした約60,900haを対象エリアとして、その中の私有林(森林組合等の保有森林)に対して、公的管理・支援を行う活動です。



相模原事業所の緑の募金活動

相模原事業所では、かながわトラストみどり財団県北地区推進協議会が主催する緑の募金運動に参加しています。2020年度は募金と緑化グッズ販売で合計64,383円となりました。

本社屋上緑化

日射を遮断し、コンクリートの蓄熱を防ぐことにより空調負荷を低減し、省エネ実現を目指すと共に、市街地での虫や鳥などの生き物の住処や中継地となるよう、本社屋上に緑化ゾーンを設けています。



環境に配慮した制服の購入

男性、女性ともに再生PET繊維50%以上が使用されているエコマーク付き作業服を採用。さらに作業服1枚購入すると苗木約2本がケニア山麓周辺地域で植林を行う「グリーンベルト運動」に寄付されています。



大気汚染、排水基準の遵守管理

アマノでは2016年以降、全サイトで重油を用いたボイラーを使用していません。大気汚染防止法に該当する設備はありません。水質汚濁物質の測定調査を行い、法令規制値超過について報告事項はありません。

沿革と主な環境活動

1931 [昭和6年] 11月 東京市蒲田区南六郷2丁目21番に天野製作所(個人経営)を創立。  タイムレコーダー 1号機	1966 [昭和41年] 6月 アマノ株式会社に社名変更。小型集塵装置「VSシリーズ」の開発。  大型集塵装置	1990 [昭和2年] 4月 高温有害ガス除去システムの完成・発売開始。  高温有害ガス除去システム	1995 [平成7年] 4月 機能水(電解水)事業に新規参入。(エコロジー事業)  電解水生成装置	2000 [平成12年] 1月 津久井事業所 ISO14001-1996 認証取得(認定機関: UKAS及びJAB) 2月 津久井事業所が神奈川県「環境管理事業所」に設定される。	2005 [平成17年] 6月 業界初の「RoHS指令」準拠の電子タイムレコーダー「CRX-200」を発売。  CRX-200 8月 細江事業所 ISO14001:2004 認証取得・更新(認定機関: UKAS及びJAB)	2007 [平成19年] 3月 厚生労働省より「快適職場推進事業場」認定を受ける(細江事業所)  快適環境職場 4月 都田事業所及び(株)環境衛生研究所、ISO14001:2004 認証を同時取得(認定機関: UKAS及びJAB)	2010 [平成22年] 7月 “ゼオライト濃縮プラズマ触媒酸化式VOC装置”が第36回優秀環境装置表彰で「(社)日本産業機械工業会会長賞」を受賞。  太陽光発電 10月 「改正省エネ法」の規定に基づき、特定事業者指定(特定事業者No.0010631)される。	2013 [平成25年] 8月 津久井事業所に太陽光パネルを設置し、発電開始。  太陽光発電	2016 [平成28年] 6月 “オイルミスト捕集用電気集じん装置”が第42回優秀環境装置表彰で「(社)日本産業機械工業会会長賞」を受賞。 2017 [平成29年] 3月 RoHS2追加4物質の含有量調査開始。 7月 細江事業所及び相模原事業所 ISO14001:2015 更新
1952 [昭和27年] 5月 リクレス(ドレーン分離機)の開発・発売。(環境事業スタート)  リクレス (ドレーン分離機)	1970 [昭和45年] 10月 大型集塵システムの開発。公害事業部発足。  大型集塵装置	1992 [平成4年] 10月 浜松市都田テクノポリスに金型製造と環境開発の「都田テクノ事業所」竣工。	1999 [平成11年] 8月 細江事業所 ISO14001-1996 認証取得(認定機関: UKAS及びJAB)	2003 [平成15年] 2月 環境保全協議会「神奈川県県央・津久井地区部会」幹事に選任される(津久井事業所) 2004 [平成16年] 3月 アマノ環境方針を制定 4月 グリーン購入ネットワーク(GPN)に加入。	2006 [平成18年] 1月 津久井事業所 ISO14001:2004 認証取得・更新(認定機関: UKAS及びJAB) 12月 アマノ環境報告書を発行(第1回)	2008 [平成20年] 6月 神奈川県県央地域県政センターより公害防止活動と環境保全推進活動が評価され表彰受賞(津久井事業所)	2012 [平成24年] 横浜事業所で省エネのため、一部の空調設備をガスヒートポンプエアコンに変更する。	2014 [平成26年] 4月 津久井事業所を横浜事業所と統合し、相模原事業所と名称変更。都田事業所を細江事業所に統合。	2019 [平成31年] 2月 RoHS2指令に順次対応開始 2020 [令和2年] 4月 神奈川県森林再生パートナー制度に協賛

行動規範・コンプライアンス

アマノ行動規範の制定

アマノグループでは、2014年4月に『アマノグループ社員 行動規範』を制定しました。

この行動規範は、これまでのアマノグループの長い歴史の中で培われてきた企業文化や良い伝統のうち、特に大切にしていきたい項目を12の行動規範にまとめています。左側の6項目が「基本的な心構えに関する規範」、右側の6項目が「仕事を進める上での規範」という構成となっており、社員一人ひとりにとって様々な判断や行動の指針となります。

グループ全体でこの行動規範の理解を深め、行動規範に沿った判断や行動が実践できるよう、様々な取り組みを行っています。

ホームページの掲示

アマノホームページ上でも基本理念体系図や社訓、企業理念等とともに、行動規範を確認することができます。

基本理念：
<https://www.amano.co.jp/corp/philosophy.html>

行動規範：
<https://www.amano.co.jp/corp/management.html>

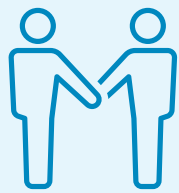


コンプライアンス

アマノグループでは、「コンプライアンス基本方針」、「コンプライアンス規程」を制定し、コンプライアンス意識の浸透と徹底に向けて、様々な活動に取り組んでいます。

アマノグループ企業倫理綱領

2015年6月に『アマノグループ企業倫理綱領』（冊子）の改定版を社員一人ひとりに配付して、内部統制基本方針、企業倫理規範等の理解や企業行動基準の遵守徹底に努めています。



コンプライアンス研修の実施

知っておくべき各種法令関係情報を全従業員に周知し、定期的なコンプライアンス研修(e-learning)を実施しています。実際の場面に即した具体的な設問により、コンプライアンスへの理解を深めています。



内部通報制度の運用

アマノグループ全従業員から内部通報・相談を受け付ける制度として、「アマノグループ・ホットライン規程」を定め、「企業倫理ホットライン」、「人事ホットライン」、「アマノ社外ホットライン」の3つのホットライン窓口を設置し運用しています。

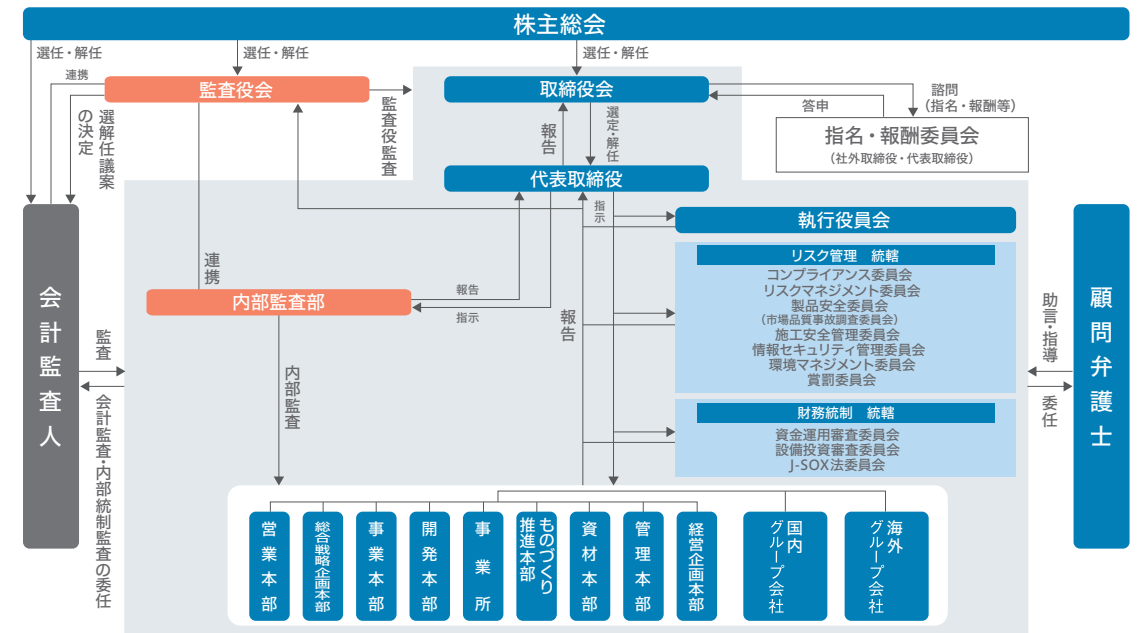


コーポレート・ガバナンス

コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方

アマノグループは、企業倫理の重要性と経営の健全性を経営上重要な課題として位置づけています。これらを実現・推進するための組織・運営体制の確立により、一層信頼される企業を目指すべく、事業活動の推進や業務執行における法令遵守はもとより、企業倫理に基づく行動を徹底してきました。これらにより、コーポレート・ガバナンスの実効性を確保し、公正で透明度の高い経営を実現しています。

●企業統治の体制図



企業統治の体制



取締役会

取締役9名(内、社外取締役3名)で構成されており、定例取締役会のほか、必要に応じて機動的に臨時取締役会を開催し、経営に関する重要事項を審議・決定するとともに、業務の執行状況も報告され、迅速に経営判断できる体制となっております。現在、社外取締役は取締役の3分の1を占めており、その内1名は女性を登用しております。



執行役員制度

経営と業務執行に関する機能と責任を明確化し、意思決定の迅速化と経営の効率化を図ることを目的に、2005年4月より執行役員制度を導入しております。なお、執行役員16名のうち4名は取締役を兼務しております。



監査役会

監査役会は、監査役4名(内、社外監査役2名)で構成されており、取締役の業務執行を監視するとともに、内部監査部と連携を図り業務執行の監視強化に努めております。なお、社外監査役2名の内1名は女性を登用しております。



指名・報酬委員会

取締役会の指名・報酬等に関する手続きの公平性・透明性・客観性を強化し、コーポレートガバナンスのさらなる充実を図るため、取締役会の任意の諮問機関として、社外取締役及び代表取締役からなる「指名・報酬委員会」を設置しております。当委員会では、社外取締役の独立的な観点、幅広い経験及び専門的な知識に基づく見地から、役員の指名・解任、報酬及び後継者育成計画等に関する事項など重要な事項について審議し、取締役会に対して答申を行っております。



その他グループ会社

その他、グループ各社については、国内は「国内グループ会社戦略会議(Domestic Strategy Conference)」を、海外は「海外グループ会社戦略会議(Global Strategy Conference)」を必要に応じて開催し、各社の経営状況を把握する等経営監視機能を高め、グループ一体となった企業倫理の浸透、ガバナンスの強化を図っております。

人権方針

人権方針

私たちは、人権尊重を推進していくことが社会に存在する企業としての大きな責任であり、個人の人権、個性が尊重される環境づくりに貢献することが企業に当然期待されるべきものであることを理解しています。

常に人権が尊重される社会の実現を目指し、人権尊重の責任を自ら果たしていきます。人権に対する負の影響を引き起こした場合は、直ちに適切な手続きを通じてその救済に取り組みます。

また、このような人権への配慮を基盤とし、全ての人材が個々の持つ能力を最大限に活かし多様な価値観を共有することができる、働きやすくやりがいのある会社、ダイバーシティな環境の構築を目指していきます。

責任の遂行のために

- ・ 非正規雇用を含むアマノグループすべての従業員の人権を尊重します。また、すべてのビジネスパートナーに対し、人権の尊重を求め、協働して人権尊重の責務を果たします。
- ・ 事業活動を行うそれぞれの地域において、その国の国内法および規制を遵守します。
- ・ ダイバーシティを尊重し、人種、宗教、年令、性別、障害、政治上その他の意見、またはその他のビジネス上の正当な利益と関係しない要素に基づく差別を禁止します。
- ・ いかなる形態の強制労働や児童労働、いかなる形態の現代奴隷を認めません。
- ・ 労働者の団結権、団体交渉および団体行動を認める労働基本権を尊重します。
- ・ 人権デュー・デリジェンスの仕組みの構築を検討し、人権に対する課題を特定し、その防止および軽減に努めます。
- ・ すべての従業員に対して、法令・諸規則等に違反する（または違反するおそれがある）行為を発見した場合、その旨を速やかに報告することを奨励します。その為に、通常の指揮命令系統から独立した社内通報制度を構築し、維持します。また、通報を行った従業員を公正に取り扱うために、通報者の匿名性を維持します。
- ・ 関連する外部ステークホルダーとの対話と協議を行います。
- ・ 人権に関する法令や原則の遵守に向け、すべての役員と従業員に人権方針を周知し、適切な教育を行うことにより、事業活動への定着を図ります。

2021年11月10日制定

目標と活動実績

2020年度目標	2020年度の活動実績	自己評価	2021年度目標
【環境マネジメントシステムの維持】			
ISO14001認証更新・維持審査対応（審査の更新）	更新審査完了	◎	認証の維持
【温室効果ガス排出量の削減（省エネ・節電の徹底）】			
改正省エネ法 エネルギー原単位で1％以上削減	110.8％ 目標未達成	○	改正省エネ法 エネルギー原単位で1％以上削減
公道を除く社用車燃料（ガソリン・軽油）使用量を前年度より削減	23.3％減 目標達成	◎	公道を除く社用車燃料（ガソリン・軽油）使用量を前年度より削減
工場使用燃料（重油・灯油）使用量を前年度より削減	17.2％減 目標達成	◎	工場使用燃料（重油・灯油）使用量を前年度より削減
水使用量の削減（前年度より削減させる）	4.2％減 目標達成	◎	水使用量の削減（前年度より削減させる）
2006年度基準にCO ₂ 排出量を毎年1％削減	2.1％減 目標達成	◎	2013年度基準にCO ₂ 排出量を毎年1％削減
法定環境測定の実施（いずれも、規定値オーバーなし） ・大気への排出調査（大気汚染防止法、県条例） ・悪臭（悪臭防止法） ・水質調査（水質汚濁防止法、県条例） ・騒音／振動調査（県条例）	法定環境測定の実施（いずれも、規定値オーバーなし）	◎	法定環境測定の実施（いずれも、規定値オーバーなし） ・大気への排出調査（大気汚染防止法、県条例） ・悪臭（悪臭防止法） ・水質調査（水質汚濁防止法、県条例） ・騒音／振動調査（県条例）
【産業廃棄物排出量の削減とリサイクル率向上】			
紙の使用量削減（前年度より増加させない）	19％減 目標達成	◎	紙の使用量削減（前年度より増加させない）
廃棄物排出総量を前年度より削減させる	10.3％減 目標達成	◎	廃棄物排出総量を前年度より削減させる
廃棄物のリサイクル率を前年度より向上させる	0％ 目標未達成	○	廃棄物のリサイクル率を前年度より向上させる
廃プラ排出総量を前年度より削減させる	25％減 目標達成	◎	廃プラ排出総量を前年度より削減させる
廃プラのリサイクル率を前年度より向上させる	1.7％低下 目標未達成	○	廃プラのリサイクル率を前年度より向上させる
【有害化学物質の適正管理と使用量削減】			
PRTR指定化学物質取扱量を前年度より削減する	22％減 目標達成	◎	PRTR指定化学物質取扱量を前年度より削減する
欧州REACH規則高懸念物質調査の実施	継続実施	◎	欧州REACH規則高懸念物質調査の実施
新製品はRoHS2対応考慮、EU対象製品はRoHS2対応設計、WEEE対応	継続実施	◎	新製品はRoHS2対応考慮、EU対象製品はRoHS2対応設計、WEEE対応
【グリーン購入／グリーン調達推進】			
グリーン調達ガイドライン準拠部品の継続購入	継続実施	◎	グリーン調達ガイドライン準拠部品の継続購入
紙書類の電子化推進強化	継続実施	◎	紙書類の電子化推進強化
事務用品等グリーン購入の継続推進	53.4％	◎	継続実施
【環境教育の実施】			
環境資格の取得推奨と全従業員への環境教育の実施	継続実施	◎	環境資格の取得推奨と全従業員への環境教育の実施
【社会貢献活動の実施（地域環境保全団体への参加）】			
こどもエコクラブにパートナー会員として協力	継続実施	◎	90周年行事で新たな取組みを追加
不法投棄撲滅キャンペーンへの継続参加及び「緑の募金」継続協力（相模原事業所） 浜名湖クリーン作戦への参加（細江事業所）	感染防止のため中止	○	継続実施
【緊急事態への対応】			
総合防災訓練の実施（本社・相模原事業所・細江事業所）	感染防止のため中止	○	総合防災訓練の実施（本社・相模原事業所、細江事業所）
【女性活躍推進】			
合計70名の女性の採用（5ヵ年計画）	目標達成	◎	次期5ヵ年計画 1)労働者に占める女性労働者の割合を16％にする 2)男性の育児休暇取得率を5％以上にする
【従業員の多様性】			
障害を持つ従業員のアビリンピック参加	目標達成	◎	障害を持つ従業員のアビリンピック参加

◎…目標達成 ○…目標未達成



本 社 〒222-8558 神奈川県横浜市港北区大豆戸町275番地
TEL.045-401-1441 FAX.045-439-1120

相模原事業所 〒252-0154 神奈川県相模原市緑区長竹236番地3
TEL.042-784-7441 FAX.042-780-7107

細 江 事 業 所 〒431-1305 静岡県浜松市北区細江町気賀8123
TEL.053-522-0951 FAX.053-527-0002

●本環境・社会報告書に関するお問合せ先

環境管理中央事務局

〒222-8558 横浜市港北区大豆戸町275番地
TEL:045-401-1441 FAX:045-439-1150
E-mail: Kankyo Jimukyoku-Post@amano.co.jp
<https://www.amano.co.jp/>

発 行 : 2021年12月
発 行 責 任 者 : 代表取締役社長 津田 博之
発 行 部 署 : アマノ株式会社 環境管理中央事務局